**俺の妹がこんなにかわi(ry**

　斎藤 浩一

去年の躍進を読みなおすと、僕は最後にこんなことを書いていた…

『長くなったらから妹編は来年の躍進で！シスコンみたいになるから、他に書くことがあったら妹編は永久に延期です。今年はこれでおしまい！』

　ということで、今年は特に書くこともないし妹編始めるよ！2年のM・Kさんにもなんか強く要望された気もするから妹編始めるよ！妹に書いていいかきいてないからM・Kさん経由とかでばれて後で怒られるかもしれないけど妹編始めるよ！陸部の妹さんたち、お兄ちゃんがほしかった方たち、兄というものはこんな感じで妹を見ているのです。

　ちなみに妹は無駄に2人もいるのでどっちも書きますね。

**千佳子**20才

　新潟高校→早稲田大学創造理工学部2年(現在)。男の子だったら前回書いたとおり「弘二」君だったのだが女の子だったので名前はてきとうにつけたらしい。誕生日は10月7日。僕が10月8日生だから一日違い。母親曰く｢浩一産んだ時10月は産むのに適している思ったから10月に産んだ｣らしい。なんと計画的な両親。部活は合唱(中学・高校・大学)、書道(高校・大学)と文化系。僕は合唱について詳しいことは知らないが、家だと突然歌い出すからうるさい。書道はそこそこうまい。高校から細字を専門にし始めたようで、初めて見た人はこんなの書いたの!?って思うはず。分かりやすくいうと解２の試験を作品にしました！って感じの紙に細かい字びっしりってのを書いてる。

　今はもちろん東京に住んでいて、遊びに行ったことがないから本当か知らないのだが、一階部分が机で二階部分がベッドみたいな奴買ったら、ベッドと天井との隙間が数十センチしかないらしく毎朝天井に頭をぶつけないように気をつけてるらしい。そろそろ遊びに行きたい。

　小さい頃書いてたキャラクターに「くるぴょん」ってのがいる。見た目は二足歩行のうさぎで目が渦巻きになっている感じ。妹によると「いつも目が回っていて歩くのもふらふらしている。くるくる回ることを利用した技もある(僕のイメージでは飛鳥文化アタック！)」という設定らしい。ある程度自分自身のキャラクターとしてくるぴょんが定着してきた頃、ポケットモンスタールビー・サファイアが発売された。そして113番道路まで進むと妹の表情が一変「くるぴょんがぱくられた…」影の薄いポケモンなのでイメージできない人多いだろうけど、パッチールというポケモンがくるぴょんにとてつもなく似ていたのである。これは斎藤家の謎のひとつ。僕は「クレヨンしんちゃん 電撃! ブタのヒヅメ大作戦」のぶりぶりざえもんのようにポケモンの製作者がぱくったのだと信じてやまない。まあ、パッチールはたぬきがモチーフなのだが…。ちなみにくるぴょんの友達に「くるこん」というキツネが存在する。他にもくるわん(犬)とかくるにゃん(猫)とかくるぽん(狸)とかぽんてん(人間)とかがいたようないなかったような気がするけどよく覚えてないや。

**多佳子** 17才

　新潟高校3年。名前は「千」佳子の次だから万も変だし「多」でいいやという感じでつけたらしい。でも、家族の名前がとしひろ→ひろこ→こういち→ちかこ、としりとり(親は2文字同じ)になっていたので本当は「こ」から始まる名前も考えていた。結局たかこになったわけだがこれも、たかこ→こういち→ちかこ、とできるので満足したらしい。ちなみに11月28日生。タイミングずれた。
　部活は中学で陸上(幅跳び)をやっていたのだが部の雰囲気が自分に合っていないとやめてしまった。高校では姉と同じく書道と合唱をやっている。高校で合唱を始めたら姉妹で突然歌いだすのでとてもうるさい。ちなみにお母さんも一応音楽の教師だった(前回の躍進参照)ので一緒に歌い出す。お父さんはギターを弾く。しょうがないので僕は踊るのである(嘘。でもたまに男声パートはたまにやってあげる)。書道は結構うまい。たしか県の競書大会で最優秀賞みないなのをとったことがある。その時の書道部顧問のコメントは「私も審査員として得点付けたけどそんなに上手だったかしらねぇ…？」だった。そういう素直な先生は素敵でした。

　この子の代表作には「しぶしそ」と「ネコちゃんマン」ってのがある。「しぶしそ」は南アフリカの学会に行ってきたお父さんからのお土産の英語の本を当時小学生だった妹が辞書を片手に訳した本である。「しぶしそ」ってのは主人公の名前(そう訳してあっただけで本当にそうかは知らない)。もちろん文法なんか知らないので。Itやthatのせいで文章によく「それ」が突然出てきたり、過去完了形を「持って」いたりとなかなか面白い。中学生になって掃除中になつかしのしぶしそを見つけた妹は「なにこれ。面白い！」と言っていた。

　「ネコちゃんマン」はネコのヒーローが活躍する絵本とマンガの中間のような読み物。ネコちゃんマン(♀)のミャーがウサちゃんマン(ミミ)やジャン(←こいつも正義のヒーローだけど○○マンとかじゃなくて本名でしか呼ばれない←たしか複線。)と共に悪と戦うお話。１話完結型で各話にボスがいてそこそこ苦戦した後に逆転勝利をする。１話からでできたキャラクターが実はラスボスなどの複線(後付けともいう)があったり、終盤に仲間が捕らわれて一人で戦い続けるなどの熱い場面もあったり小学校低学年が作ったわりに手が込んでいて面白い。ちなみに３部作でありネコちゃんマン3まで絶賛発売中！

　と、僕の妹たちはこんな感じです。これで家族全員かいたから来年からなネタがなくなった。来年はおじいちゃんとかの紹介でなんとかなるかなぁ…そしたら最後の躍進は嫁とか息子とか家族をふやs…(自主規制)

おしまい